



長崎鑑及冊内

二

大崎文庫

服部文庫

117

1553

2



才一有馬候理矣長清洋之南蠻船燒討事

才二渡田浦島之御人貨取事

才三琉球之捕人南蠻人入事

才四南蠻船所停止後之船被東朝山燒捨事

才五南蠻船之過南蠻人隠居事

才六南蠻船之過大崎之南蠻人捕人

才七南蛮船之過大崎之南蠻人捕人

才八南蛮船之過大崎之南蠻人捕人

才九南蛮船之過大崎之南蠻人捕人

乃十
 時第一撃より長崎の行が陣兵長が第一撃を首
 長崎より急ぎ

附山田英作之書寫

力十長壽山通雲天谷不為河用若為亦如人子矣

中一馬依理交長壽仲南壽和號討五

一、長十、清、順、主、王、之、所、理、更、帝、昭、作、水、之、極、之、

[illegible]

修理更漸分海邊、より船大、水士是し押切、速く元
順風かゝる湊中、せむれき、高次之令、其御定見成
思船神、速く件、湊留久、船地、此後既、来入り修理
多、船と寄、思船、記入、審美、この中、切殺、修、船屋、修、と
いふ、其相、渡、和南、渡、人、持利、と云、其有、火、と云、其、右、船、并
市中、沈、修理、事、も、早、く、と、知、と、近、所、に、審、美、不、修、經、審、
修理、事、家、新、も、大、修、死、と、い、ふ、こと、並、中、を、修、事、下、は、

[illegible]

報之三言貴目余揚也
 後平應之己年本行
 為神信之方貴目余揚
 子七方貴目神海也

卷二
漢田千秋傳之初
人贊九事

一、實心。此阿闍陀人之初。淺押。所要害。と。持。城。光。

具形、概等と揚、粒相留ん之へ、其れんぬとわづ
前、今、所、為、高、貴、人、の、死、何、あ、り、と、思、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
是、水、海、航、為、仕、り、ぬ、と、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
家、来、入、之、人、と、考、え、れ、卷、初、を、因、り、と、い、ふ、中、に、
さ、り、と、横、横、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
所、も、あ、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
み、か、た、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
場、に、あ、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
兵、隊、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
秘、に、家、頼、才、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、

先、ゆ、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
前、に、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
為、難、い、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
毎、日、に、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
殺、切、腹、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
の、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
家、頼、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、
中、に、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、事、な、り、と、い、ふ、

人教古子七百之務人但此字天
和教古子七百之務人但此字天
和教古子七百之務人但此字天

人教是乃至之至人
但少美

人出子万子之音人但水之

人數之八百七拾人
但水之九
船數九拾艘
陳新
書

人數六百七十八人
但此是元

人教之多五百人
但水之元

但小兒

但此矣

但少天

取教之拾遺

陳所元

河下知止相倚孤上度并飛

濟濟
濟濟

杉平菴後書

一筆之修之果如之濟為澤去月
廿八日候低地相親之長之有
日限野鐵都之飾之有之設之及

上國如名所為上使海軍之官
入形事人及行元派中上之官不令待事
河中之相送りて事を候所也事關
由我信立て事を以 仰れ言明て事
恐惶謹言

阿部對馬守

阿部豐後守

杉平信重守

七月十二日

杉平筑前守殿

今年西泊り元町杉平筑前守御書係
所より御書有るに令初来り云

大坂城籠大野馬子永井勘兵衛と云者
爲す捕事都より候事

一 大野道新中大野馬子永井勘兵衛と云者初少
大坂城へより京都迄隠居候事にて長崎所へ
因り更へて一 寛文二年申中より一にりて事
行多ゆへに在り支那へより長崎迄にりて長崎中
より一にりて石強と云者之代に事は相と改相と
事少ゆへに一 同年京都より一にりて事

一 鴻毛隙中 所用長崎 玉帶 羅布 絹 糸 規
銀 三 百 拾 五 貫 二 百 九 拾 五 文 或 分 三 厘

拂 方

石火矢 鉄炮 所 後 玉 帶 指 板 皮 纜
細 川 大 工 瓶 活 瓶 綿 糸

一 長 崎 石 火 矢 打 磨 負 邦 事

銀 百 枚

濱 田 新 藏

同 五 拾 枚

六 永 十 在 進

同 三 拾 枚

鴻 毛 市 進

同 三 拾 枚

東 所 幸 久 在 進

同 五 拾 枚

手 傳 若

東 城 生 捕 山 田 進 作 事 英 字 字

一 玉 馬 進 作 事 人 山 田 進 作 事 英 字 字 順 月 記

清 之 三 郎 住 居 寬 永 十 七 年 十 月 天 皇 鴻 毛 切

文 丹 室 門 下 者 大 蜂 乾 一 中 門 下 者 東 城 氏 各

豐 之 寅 二 月 廿 八 日 廣 城 氏 東 城 氏 在 進 作

本 城 氏 在 進 作 事 小 笠 氏 在 進 作 事 一 柳 氏 在 進 作

行 氏 在 進 作 事 指 向 早 進 作 事 早 進 作 事 山 田

友 氏 在 進 作 事 也 年 六 十 山 田 所 在 進 作 事 也

鴻 毛 切 文 丹 一 柳 氏 在 進 作 事 長 崎 氏 在 進 作

いりて相見の題

二月廿二日馬鹿殿所生神江津屋人
山田彦作上降

一 今度切支丹記の中より、けふ二年、天幕月、
東陽、山居は、利支丹生を、
海客、宗名、
船中、早、天幕、上降村、
伴、連、
不、
必、
極、

白、
焼、
一、
川、
使、
法、
一、
前、
主、

一 吉利支丹記の中より、けふ二年、天幕月、
東陽、山居は、利支丹生を、
海客、宗名、
船中、早、天幕、上降村、
伴、連、
不、
必、
極、

伐安其地つゝ相家未けきふて、
千石已る者へより金免所なく事

[illegible][illegible]

一、齊東野行爲何所學（考）或（宛）子（下）

夏江九日集
病田五下在

成田十左衛門
高橋源兵衛

長江
近國大谷
爲印國
又爲
近國

一覽永。以之長壽。何事也。所人。其志也。
 予。所以。心。亦。為。難。而。面。前。怪。之。侍。或。不。町。
 有。是。事。行。下。り。我。稀。乎。一。次。さ。極。少。と
 云。耳。予。之。心。保。可。南。海。永。來。若。佛。之。道。
 必。令。改。節。付。心。長。待。之。應。乃。神。名。中。者。待。に
 仰。止。切。存。元。祿。元。辰。年。上。院。所。入。始。言。不
 大。名。不。知。

拾遺新大略附

杉平藏書

平蕩樓
丙午
十月
上旬
西人

細門部

附人

右記人、陽子、相傳二月代

相年肥前

附人

右記人、百代

相年信濃

附人

右記人、定信

相年大膳吏

附人

右記人、向、十月、向

宗封馬

附人

右記人、平信

右記人、平信

附人

右記人、向、十月、向

小笠原遠江

附人

右記人

立花飛騨守

附人

石井守中 十月上旬

杉本主殿

附人

石井守中

石井周守

附人

石井守中

石井守中

附人

石井守中

大村周守

附人

石井守中

石井守中

附人

石井守中

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.